

本施設は川場村の村づくりの基本路線である「農業プラス観光」の集大成の事業として設置されました。平成5年に川場村の第三セクターとして株式会社田園プラザ川場^{ほっそく}が発足すると、年々新規事業を開始し、今では事業用地約5ヘクタールに、レストランやカフェなど23の店舗を有し、年間180万人の入場者と20億円の売り上げをあげる施設となり、村内の就労の場としても大きな役割を担っております。中でも売り上げ6億円のファーマーズマーケットは、農家が自分の野菜を直接提供するため、農家の収入増と農地の遊休化の防止に寄与しており、地元経済への貢献は絶大であります。

また、社員教育にも力を入れ、年1回先進テーマパークを視察するとともに、3カ月に1度の戦略会議では部門担当者に経営状態を分析させ、新メニューの開発などに反映させる、事業のブラッシュアップの仕組みが確立されておりました。

施設整備の面では、非日常感をコンセプトに、トイレの表示をあえて見えにくくする、ゆとりを持って各施設を配置するなどの工夫が見られました。

本市におきましても、同様な施設としてぶどうの丘があります。ぶどうの丘の特色を生かしつつ、来訪者が満足することを第一に考えたサービスによって、より多くの方にまた来たいと思っていただけるような施設になることを期待するものであります。

以上で、建設経済常任委員会の報告を終わります。